

## 1. 「ハイ」の返事

株式会社 セトバルブ社長 瀬戸章様より

私は結婚して今年31年になりますが、最近、家庭円満のコツを掴んだような気がしています。

**家庭円満のコツは、家族の誰かから呼ばれた時に「ハイ」と元気よく返事をする事です。**

簡単なようですが、これが大変難しいのです。

素直な気持ちになり習慣化しなければなかなか自然に言えません。

私達の会社の朝礼では、「経営理念」「今日一日の指針」の唱和のあと大きな声で社員の皆さんと「ハイ」の練習をしています。

初めの頃はぎこちなく「ハイ」の音がそろいませんでしたが、何年もやっていると習慣になり楽しく出来るようになってきます。「継続は力なり」です。

上司に呼ばれたとき「ハイ」、同僚、部下から呼ばれたときも「ハイ」と大きな声で明るく返事を返せるようになった人は、**みんなから信頼される人物になっています。**

私も会社では、意識して「ハイ」の返事をするようにしています。

長い人生落ち込む日もありますが、そんなときこそ、より元気の声を出すようにしています。

元気のふりをしていきますと不思議に元気が湧いてくるものです。

**使えば、使うほど増えるのが元気です。**

その証拠にわが家でも家内から呼ばれた時、自然に「ハイ」が出るようになってきました。

家内が少しきげんの悪いとき（ほとんどの原因は私ですが）

「おとうさん！！！」と叫ばれたら「ハイ」と応えます。

「おとうさんはいつも返事だけはいいいんだから！」と笑顔が戻ってきます。

「ハイ」の言える夫婦、家庭からは悪い子供は育たないと思います。

**そして「運」も付いてきます。**

職場も同じことが言えます。

社員さんのご家族の幸せに向け、これからも大きな声で「ハイ」の練習を元気よく続けていきたいと思ひます。

感動経営学通信 第4号その

????????????????????????????????????

## 2. 「ハガキ道」の坂田道信さんの講演会から

株式会社ディエムエル社長 千田昌利様より

今回は2月20日福井経営研究会で開催された「ハガキ道」の坂田道信さんの講師例会にオブザーバー出席して参りましたので、ご報告と感想を書かせて頂きます。

坂田先生は、いきなり演台から降りられ、平机の上に正坐してご講演が始まりました。

先生のご講演を聴くのは初めてなので、びっくりしましたが、先生が「私は背が低いので、こうした方が皆さんの顔がよく見えるから」とお話しされて、ご講演が始まりました。

会場の隅々まで、先生の気がこもったお声が響き渡りました。

演題は「ハガキ道に生きる」で、人としてこの世に生を受けて人生どう生きたいかということに熱く語って頂きました。

暫く忘れていた感動で、胸が一杯になりました。

まず語って頂いたのは、

**「生きるという事は心を綺麗にすること」**

ということでした。

### 命をきらきら輝かせて、少しのことで感謝して生きる。

そうすると自分の周りの人が集まってきて、結果として利益が上がります。幸せになる。

友達の数がその人の実力（吉村思風先生の愛の実力かナー）

又、人間の値打ちは判断力で決まる。

判断力には上中下のランクがある。

経営者がする判断は上でなければならぬ。

自分が神仏だとしたら、どう判断するかを基準にして、決定する。

### 宇宙の法則は、沢山働いて少しの利益で有り難うと感謝すること。

ちょっと働いて多く儲けるのは宇宙の法則に反する。

自分のネットワークを広げるために、毎日3枚以上の葉書を書く。

それも複写葉書がいい。複写で残った写しが自分の人生の証。

**人は絶対に生きなければならない。**

**相手や事柄によって生き方を変えてはいけません。**

**それは相対に生きるということ。**

夫婦というのは相手の欠点と結婚したということ。

だから相手の欠点を責めてはいけません。

熊本の徳永先生の心温まる生徒への深い愛情のお話しもお伺いしました。

先生のお話を聞きながら、自分の生き方を反省していました。

自分の人生は、正に家内、社員さんを責めて生きています。

これを機会に坂田先生のように欠点も含めてその人だし

欠点ではなく相手の長所を見て、相手の立場でどう言ったら

一番嬉しいか真剣に考え、それが正しく私の習性になるよう

毎日複写葉書を書くことを決意した意義有る一日でした。